

2020年3月期 第2四半期 決算説明資料

極東開発工業株式会社



極東開発のグループ構成

極東開発工業株式会社

特装車事業

85%

■ 製造・販売・サービス

日本トレクス㈱
北陸重機工業株式会社㈱
極東開発(昆山)機械有限公司 (中国)
MITHRA KYOKUTO SPV CO., PVT. LTD. (インド)
PT KYOKUTO INDOMOBIL MANUFACTURING INDONESIA (インドネシア)
PT KYOKUTO INDOMOBIL DISTRIBUTOR INDONESIA (インドネシア)

■ サービス

㈱エフ・イ・テック
振興自動車㈱
井上自動車工業㈱

■ 中古車販売

㈱FE-ONE

■ 関連

極東特装車貿易(上海)有限公司 (中国)

環境事業

9%

■ リサイクル施設の建設/運転受託・メンテナンス

極東サービスエンジニアリング㈱
極東サービスエンジニアリング北海道㈱
㈱モリプラント
㈱エコファシリティ船橋

不動産賃貸等事業

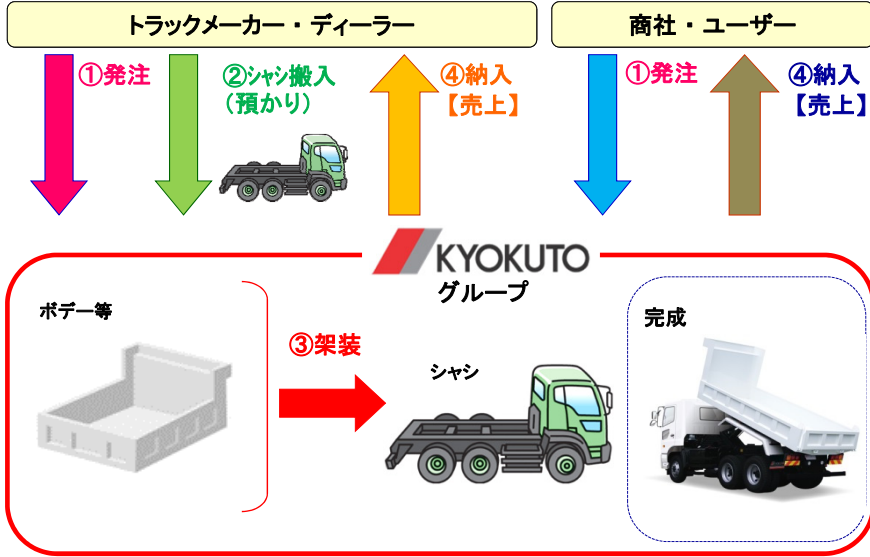
6%

■ 立体駐車装置、コインパーキング

極東開発パーキング㈱
㈱エフ・イー
ささしまライブパーキング㈱

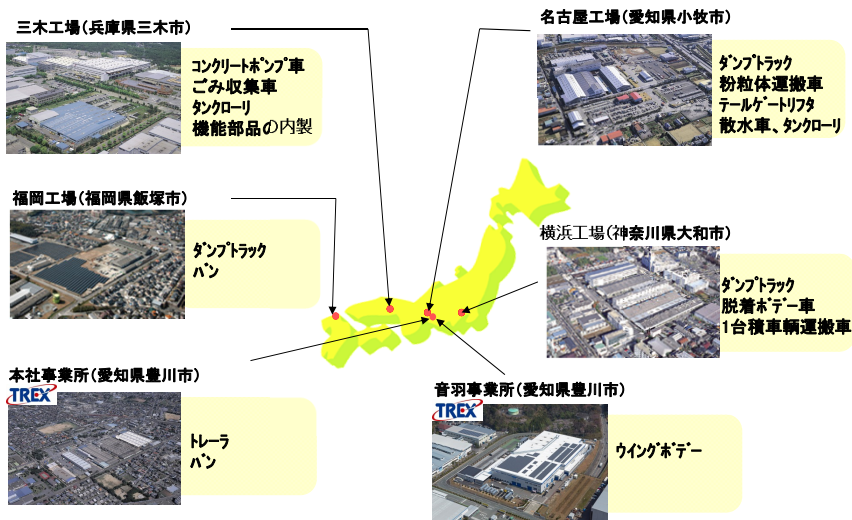
<比率は売上構成比(2019年9月期)>

特装車事業



コンクリートポンプ車等一部の製品についてはシャシは買取。

国内生産体制



グループ主力製品



コンクリートポンプ車



粉粒体運搬車



トレーラ



1台積車輛運搬車



タンクローリ・散水車



テールゲートリフト



ダンプトラック



脱着ボデー車



ごみ収集車



ウイングボデー車

5

海外生産体制



【インド】MITHRA KYOKUTO SPV CO., PVT. LTD.



ダンプトラック
ミキサートラック

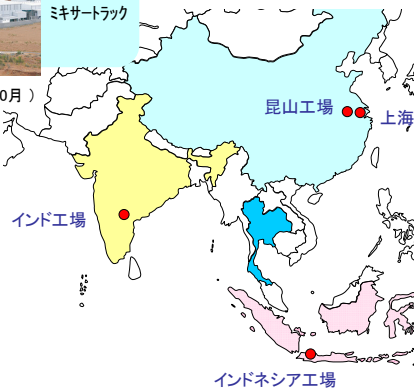
(操業開始: 2012年10月)

【中国】極東開発(昆山)機械有限公司



ミキサートラック

(操業開始: 2005年4月)



【インドネシア】PT KYOKUTO INDOMOBIL
MANUFACTURING INDONESIA

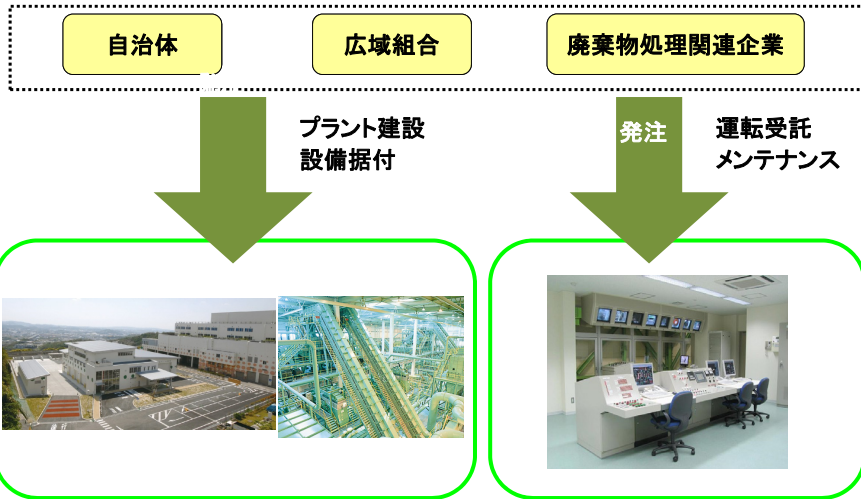


ダンプトラック
ミキサートラック
テールゲートリフト

(操業開始: 2014年2月)

6

環境事業

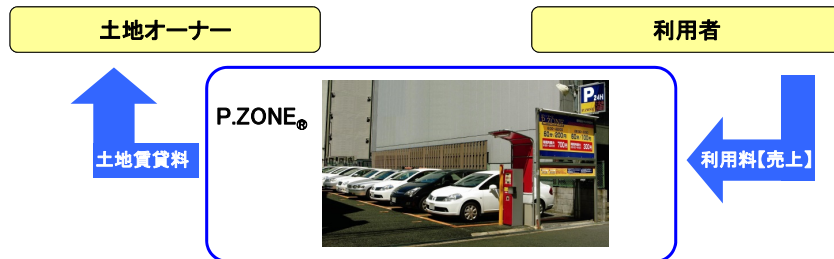


不動産賃貸等事業

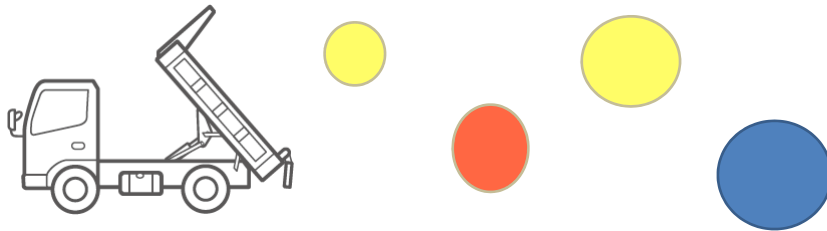
【立体駐車装置】



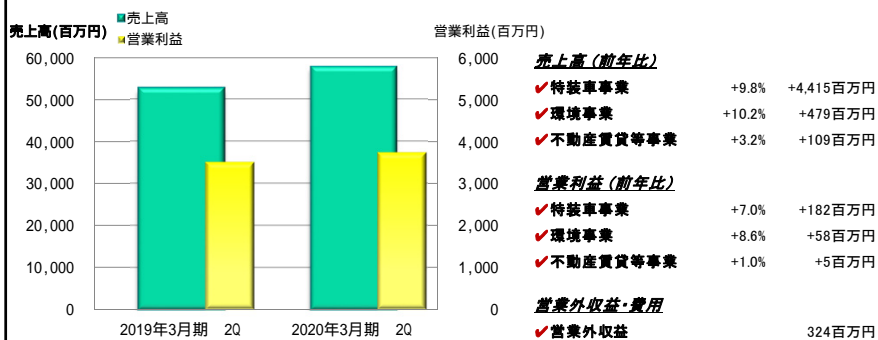
【時間貸駐車場】



2020年3月期 第2四半期 連結決算実績



2020年3月期第2四半期 連結決算



	2019年3月期 2Q 実績	2020年3月期 2Q 実績	前年同期比増減	
売上高	52,802	57,821	+5,019	+9.5%
営業利益	3,511	3,740	+229	+6.5%
経常利益	3,786	3,852	+66	+1.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,578	2,701	+123	+4.8%

売上高(前年比)		
✓ 特装車事業	+9.8%	+4,415百万円
✓ 環境事業	+10.2%	+479百万円
✓ 不動産賃貸等事業	+3.2%	+109百万円

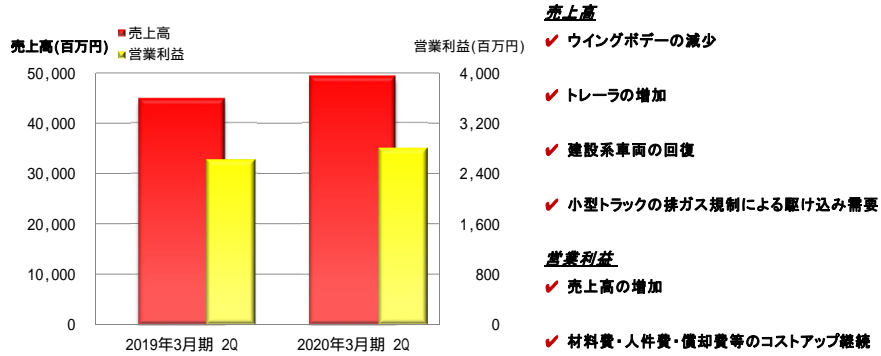
営業利益(前年比)		
✓ 特装車事業	+7.0%	+182百万円
✓ 環境事業	+8.6%	+58百万円
✓ 不動産賃貸等事業	+1.0%	+5百万円

営業外収益・費用	
✓ 営業外収益	324百万円
✓ 営業外費用	212百万円

特別利益・損失	
✓ 特別利益	546百万円
✓ 特別損失	643百万円

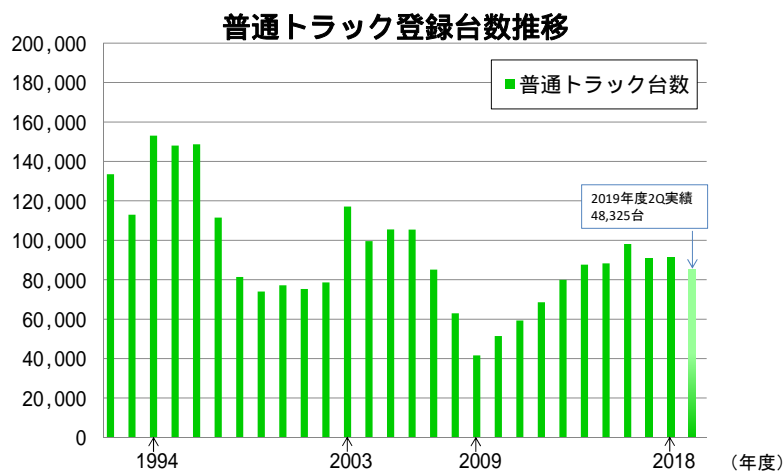
親会社株主に帰属する当期純利益(前年比)	
✓ 法人税等	△187百万円

2020年3月期第2四半期 特装車事業

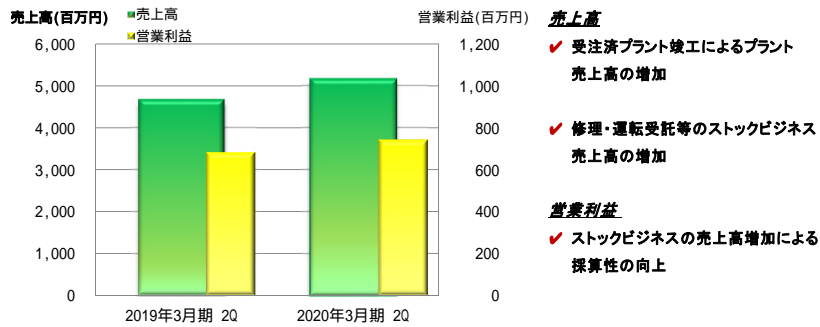


	2019年3月期 2Q実績	2020年3月期 2Q実績	前年同期比増減	
売上高	44,971	49,387	+4,415	+9.8%
営業利益	2,827	2,810	+182	+7.0%

2020年3月期第2四半期 特装車事業(市場環境)



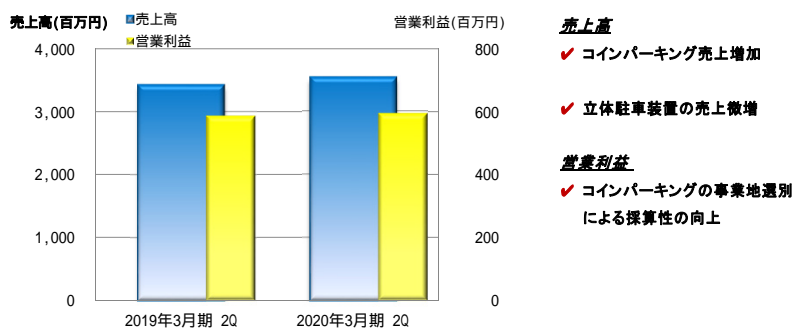
2020年3月期第2四半期 環境事業



	2019年3月期 2Q実績	2020年3月期 2Q実績	前年同期比増減	
売上高	4,888	5,186	+479	+10.2%
営業利益	685	744	+58	+8.8%

13

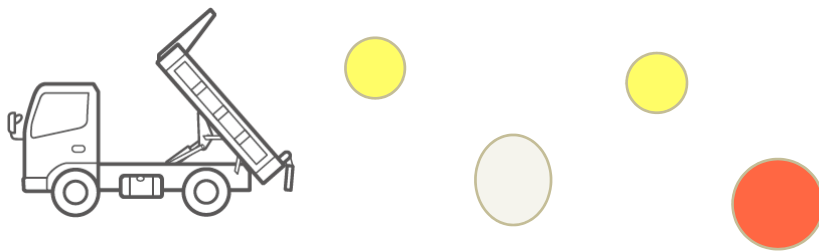
2020年3月期第2四半期 不動産賃貸等事業



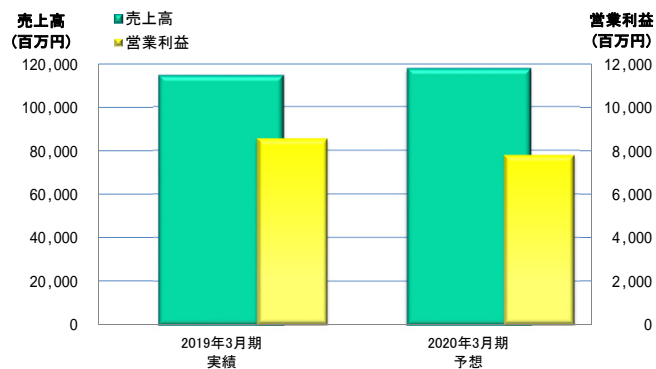
	2019年3月期 2Q実績	2020年3月期 2Q実績	前年同期比増減	
売上高	3,430	3,540	+109	+3.2%
営業利益	588	594	+5	+1.0%

14

2020年3月期 連結業績予想



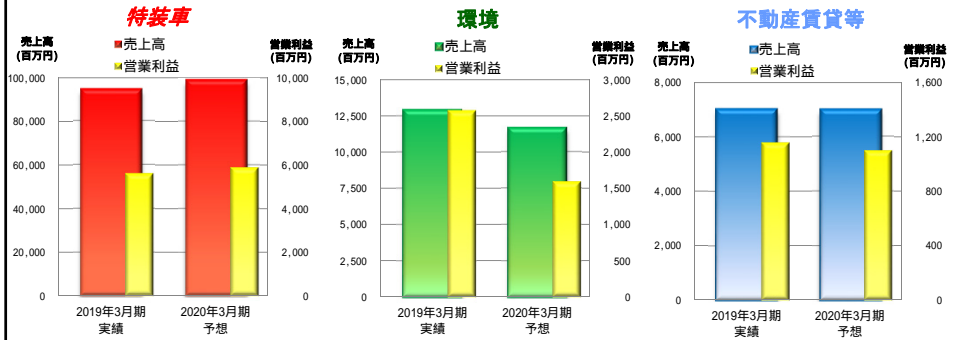
2020年3月期 連結業績予想



(5月10日発表)

	2019年3月期 実績	2020年3月期 今回予想	前年同期比増減		2020年3月期 前回予想	前回予想比増減	
売上高	114,301	117,500	+3,199	+2.8%	116,000	+1,500	+1.3%
営業利益	8,554	7,800	△755	△8.8%	7,400	+400	+5.4%
経常利益	8,817	7,900	△918	△10.4%	7,500	+400	+5.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	6,284	5,500	△784	△12.5%	5,200	+300	+5.8%

2020年3月期 セグメント別予想

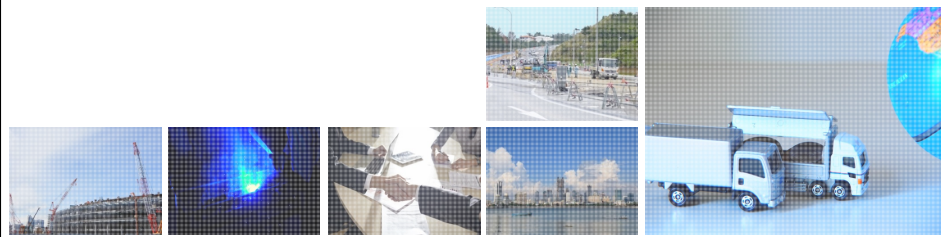


(5月10日発表)

事業	項目	2019年3月期	2020年3月期	前年比増減		2020年3月期	前回予想比増減	
		実績	予想	増減	増減率	前回予想	増減	増減率
特装車事業	売上高	94,888	99,400	+4,512	+4.8%	98,200	+1,200	+1.2%
	営業利益	5,615	5,800	+285	+5.1%	5,700	+200	+3.5%
環境事業	売上高	12,952	11,700	△1,252	△9.7%	11,500	+200	+1.7%
	営業利益	2,581	1,600	△981	△38.0%	1,400	+200	+14.3%
不動産賃貸等事業	売上高	7,035	7,000	△35	△0.5%	7,000	+0	+0.0%
	営業利益	1,161	1,100	△61	△5.3%	1,100	+0	+0.0%
調整額	売上高	△ 575	△ 800	△ 225	-	△ 700	+100	-
	営業利益	△ 803	△ 800	+3	-	△ 800	+0	-



今後の取り組み



生産性の向上と利益体質の強化 ~設備投資効果の最大化



前中計までに実施した設備投資の運用と新たな設備投資により
売上の拡大・生産性向上を図る



生産性の向上と利益体質の強化 ~IoT・AI等の活用



IoT・AI等の活用を積極的に進め、
製品・サービスの付加価値向上と社内業務の効率化・自動化を推進する

IoT・センシング
⇒見える化・データ化



AI
⇒画像認識・自然言語処理
音声認識・予知予測



製品・サービスの付加価値向上

作業効率や操作性・安全性の向上
サービス支援(K-DaSS)

社内業務の効率化・自動化

スマートデバイス・音声認識の活用
RPAの導入(間接業務の効率化)
現場作業の効率化・自動化

将来の収益源の創出 ～海外事業の収益基盤確立

海外経済の先行きが不透明さを増す中、収益基盤確立に向けてリソースを投入
日本・中国を含めてグループで連携したクロスボーダーな事業展開を推進



将来の収益源の創出 ～新分野の事業確立

グループの強みを活かせる既存事業周辺・応用領域にターゲットを絞り、事業成長に注力
成長を加速させるため、M&A・提携も積極検討



企業品質の向上と社会的価値の深化 ～社会貢献の推進



転換期を迎える社会の中、事業活動を通じて社会課題に取り組むことで
企業としての持続的成長性・付加価値向上につなげる

社会課題	当社グループの取り組み内容	SDGsアイコン
人手不足の深刻化 女性・高齢者の労働参画	<ul style="list-style-type: none"> 積載量の向上、トレーラー化（輸送・作業の効率化） 操作性・安全性の向上 省力化製品の提供 健康経営の推進 女性が活躍できる環境整備 	
社会インフラ老朽化 自然災害の多発	<ul style="list-style-type: none"> 各種特装製品の提供 生産能力の向上・柔軟化 BCPの推進 	
脱炭素化・循環型社会の構築	<ul style="list-style-type: none"> 環境事業の推進（リサイクル、バイオガス等） 製品の省エネ化・電動化 環境負荷物質の低減 太陽光発電事業 環境マネジメントのグループ拡充 	
製造業の空洞化 持続可能なものづくり	<ul style="list-style-type: none"> ものづくりの技能伝承 工場見学・インターンシップの実施 持続可能な調達の推進 	

23

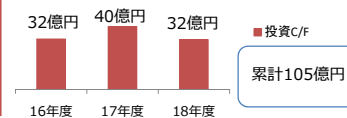
設備投資額・減価償却費・研究開発費



創出したキャッシュフローは持続的成長に向けた設備投資・戦略投資に積極活用

設備投資・戦略投資
3カ年累計 200～300億円

(参考) 2016～18年度の実績



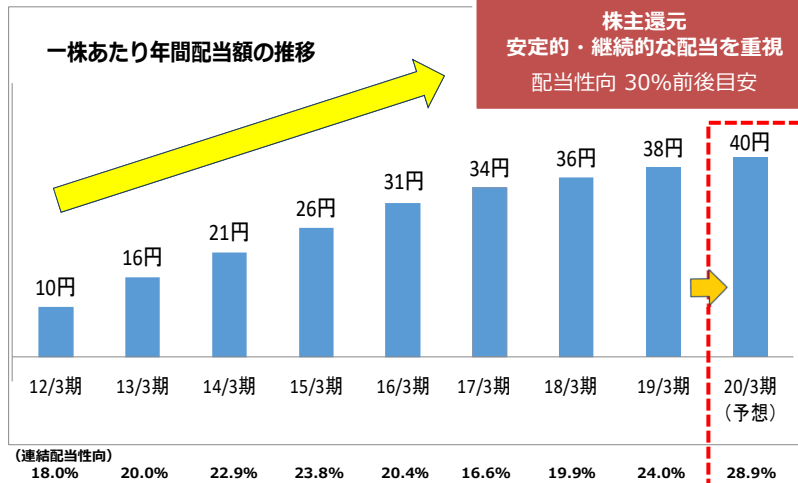
	2019.3期 実績	2020.3期 予想
設備投資	20億円	54億円
減価償却費	25億円	28億円
研究開発費	14億円	15億円

24

配当政策

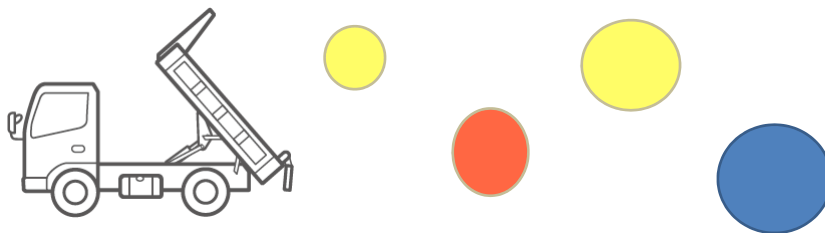
配当に関する基本方針

当社グループでは、株主還元を経営の最重要政策の一つと考え、業績の向上と財務体質の強化をはかりながら、将来の事業展開、経済情勢等を勘案して、株主の皆様のご期待にお応えできるよう努めています。



25

TOPICS



26

TOPICS① 「スワップボデー車」

- ・シャシとボデーを切り離す（脱着する）ことができるシステム。
- ・拠点間輸送では常時、荷積みされたボデーを事前に準備することで手待ち時間を削減でき、輸送効率が向上。
- ・長距離輸送では中継地点で双方のボデーをスイッチすることで長時間運転等の負担を削減。

（※ボデーおよびシャシの統一規格は当社のもものが採用される予定。）

➡ 「時短」「効率」「雇用」等の面で大幅なメリットを創出。



27

TOPICS② 岡山市でバイオマス発電施設の建設工事を受注

- ・DOWAグループであるバイオディーゼル岡山株式会社様より、食品廃棄物を原料とするバイオマス発電施設の建設工事を受注。
- ・当社は、2015年5月よりバイオガスプラント事業に参入。2016年11月には、畜産系排水処理技術に豊富な経験を有する株式会社モリプラントの全株式を取得してグループ化（完全子会社化）するなど、バイオガス関連事業を展開。

➡ 今回の受注により、更なる技術とノウハウの蓄積を行い、バイオガスプラント事業の強化を図る。

【本件概要】

1. 事業内容	バイオマス発電 (食品廃棄物を原料とし、そのメタン発酵で生じるガスを利用)
2. 施設の設置場所	岡山県岡山市南区築港栄町7番49
3. 敷地面積	8,900㎡
4. 食品廃棄物の処理能力	45t/日
5. 発電容量	910 kW
6. 操業開始時期	2021年4月(予定)



バイオディーゼル岡山株式会社様 バイオマス発電施設 外観イメージ

28



本資料の予想は発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。
実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。
本資料の著作権は極東開発工業株式会社に帰属します。いかなる理由によっても、当社に許可無く
本資料を複製・配布することを禁止します。